

2026年3月18日

各 位

会社名 ミモザ株式会社
(コード番号 191A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役会長 清水 亨
問合せ先 常務取締役 清野 祐司
T E L 03-5796-0630
U R L <https://mimoza-care.com/>

特別損失(減損損失)の計上及び通期業績予想の修正
並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)において、特別損失(減損損失)を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。また最近の業績動向を踏まえ、2025年5月15日に公表しました通期業績予想並びに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の発生理由

当社の事業所において、当初想定よりも収益性が低下している5事業所は、減損損失として149百万円計上した結果、当初予想を下回る見込みとなりました。

減損となった事業所の要因としては、稼働率が想定を下回る水準で推移していることから、成長は継続しているものの、想定していた売上高に達していないことによるものです。これらにより島田初倉、仙台太白、三島壱町田、京王堀之内、品川八潮、5事業所のリース資産及び建物を減損損失として計上することに至りました。

2. 業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期業績予想の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,800	285	250	146	215.18
今回修正予想(B)	17,840	171	270	56	82.52
増減額(B-A)	40	△114	20	△90	-
増減率(%)	0.2	△40.0	8.0	△61.6	-
(参考)前期通期実績 (2025年3月期)	16,344	△26	106	53	78.52

(2) 修正の理由

2026年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は主に住居系サービスの稼働率が好調に推移したため、通期の売上高は前回予想を上回る見込みであります。

営業利益は、人件費増及び諸物価高による原価増により、前回予想を下回る見込みとなりました。一方、経常利益につきましては、営業外収益の計上などにより前回予想を上回る見込みとなっております。しかし、当期純利益につきましては、特別損失を計上する見込みのため、前回予想を下回る見込みです。

3. 配当予想の修正について

(1) 2026年3月期配当予想の修正

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
前回予想 (2025年5月15日発表)	—	64円00銭	64円00銭
今回修正予想	—	24円00銭	24円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2025年3月期)	0円00銭	23円00銭	23円00銭

(2) 修正の理由

当社は各期の業績、配当性向及び持続的成長のため投資資金として内部留保等を総合的に勘案したうえで、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

今回の業績予想の修正を踏まえ2026年3月期の配当予想を当初予想の1株当たり64円から24円に修正させていただきたいと存じます。

(注) 本資料における上記予想は、公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上